

あおもり家畜衛生情報 No. 7 令和3年7月

★東青地域県民局地域農林水産部 青森家畜保健衛生所
★東青地区家畜衛生推進協議会



夏季休暇期間における



家畜伝染病防疫対策の再徹底について

今年から、国内でも新型コロナウイルスのワクチン接種が進み、昨年より人出が増加してきています。

また、東京オリンピックの開幕とともに、日本国内だけでなく世界からの人の移動も活発になることが予想されます。

そのため、夏季休暇期間中は、**アフリカ豚熱、口蹄疫、高病原性鳥インフルエンザ等**の国内への侵入リスクが極めて高い状況であると考えられます。

畜産関係者の皆様には、次の3点について再度確認をお願いします。

① 海外渡航の自粛

アフリカ豚熱、口蹄疫、高病原性鳥インフルエンザ等発生地域への渡航を自粛してください。

② 病原体の持込みを防止するための人・物の消毒及び衛生管理区域内への侵入防止対策

ワクチン接種農場での豚熱発生事例では、長靴・手袋の交換や手指消毒が不十分だった例が報告されています。畜舎に持ち込むものの消毒・専用化の徹底をお願いします。

病原体侵入の原因となる野生動物との接触を防止するため、防護柵や防鳥ネット等を設置し、定期的な点検・修繕をしてください。

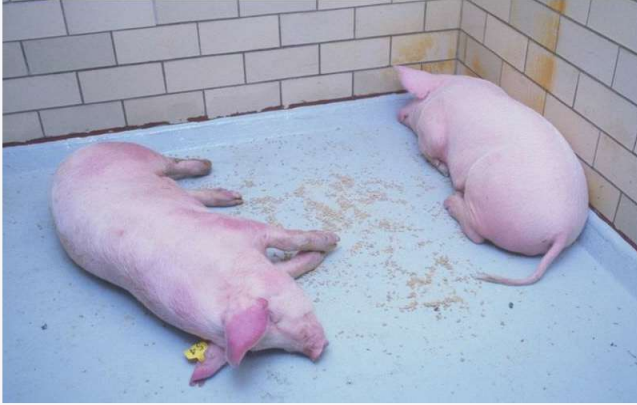
③ 家畜の健康観察及び**早期発見・早期通報**

豚熱、アフリカ豚熱、口蹄疫、高病原性鳥インフルエンザ等の特定症状を再確認すると共に、飼養家畜の毎日の健康観察を入念に行ってください。

豚熱・アフリカ豚熱の症状

豚熱・アフリカ豚熱は症状が類似しており、その症状は多岐にわたり、急死、40℃異常の発熱、血便や下痢、チアノーゼを示す。

繁殖豚では流産等の異常産も見られる。



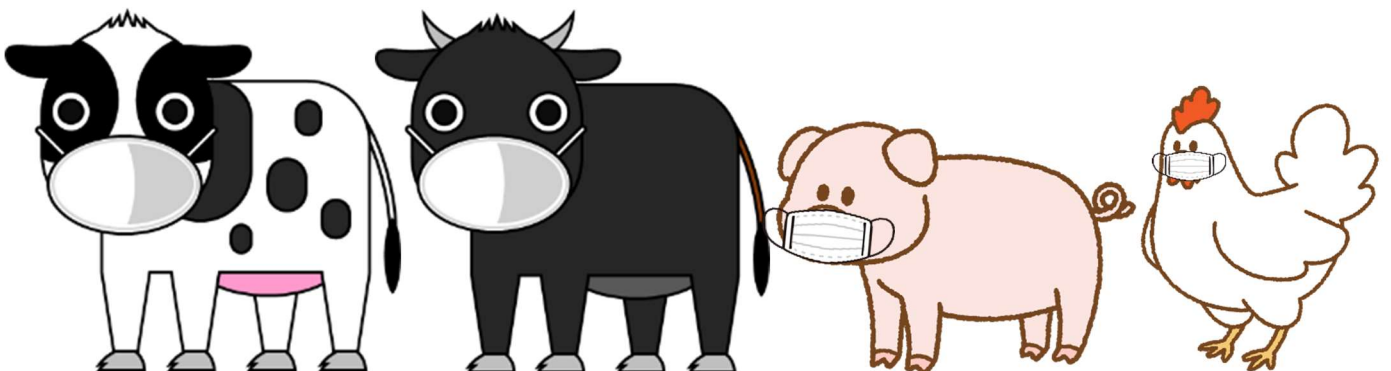
⚠️ アフリカ豚熱について

海外からの旅行客の持ち込み品で、豚肉やソーセージ等の豚肉加工品からアフリカ豚熱の遺伝子や生ウイルスが検出されています（過去3年間で遺伝子96例、生ウイルス4例）。

アフリカ豚熱は豚熱と同様、野生いのししで感染が広がり、さらに、豚熱のようなワクチンは未だ開発されていません。

アジア及びヨーロッパでは感染が拡大しています。

日本で「発生させないこと」がとても重要です！！



口蹄疫の症状

牛や豚などで、同一畜舎内の複数に発熱や食欲不振、よだれや、口、ひづめ、乳房に水ぶくれが見られる。

～牛の症状～



～豚の症状～



高病原性鳥インフルエンザの症状

急激に死亡する鶏の数が増えたり、嗜眠・沈うつ状態、皮下出血、トサカや肉垂が暗青色する、急激に産卵率が低下するなどの症状が見られる。



豚熱・アフリカ豚熱、口蹄疫、高病原性鳥インフルエンザの特定症状を呈している家畜を発見した場合は、速やかに青森家畜保健衛生所に連絡を！

電話 017 - 764 - 1744

休日・夜間 090 - 2274 - 0474